

山の事故 危険はいつもすぐそば

令和4年中、県下で起きた山岳遭難（山の事故）は37件、遭難者数52人で、うち3人の方が亡くなられています。山岳遭難は、事前の準備を十分に行うことで、そのリスクを大きく減らすことができます。しっかりと計画を立てて出発前には登山届（登山計画書）を提出し、楽しい登山にしましょう。

CAUTION



全国山域の登山届は

「コンパス」から!

自治体や警察と連携しています。

登山届は「提出」するから「共有」するへ

計画しましょう



<https://www.mt-compass.com/howto.php>



愛知県警はインターネット サイト「コンパス」と連携!



楽しい登山のために!



1 登山計画を立てよう!

- 「登りたい山」より「登れる山」へ!
- 対象山域の情報を入手して、計画を作成。予備行程も考えましょう!
- 気象条件を確認し、急な天候変化に注意しましょう!



2 装備品や携行品等のチェック!

- レインウェア、防寒具、ヘッドランプ、地形図等は必ず用意! 約5割が道迷い!
- 日帰りであっても非常食を持参!
- 遭難対策としてGPS機貸与付きの保険加入等を検討しましょう!



3 登山計画の共有（登山届等）

- 非常事態に備え、家族や職場の方など、身近な人へ知らせておきましょう。
- 「コンパス」へ入力したり、対象山域の管轄警察へ提出しましょう。（愛知県内は警察本部地域総務課宛）



～万が一遭難したら!～

- 何よりも体力温存に努め、むやみに動き回るのはやめましょう。
- 山岳遭難を疑った段階で、救助要請をしましょう。



※ 北アルプス等一部山域では、条例により登山届の提出が義務付けられています。